

## こうほこう 黄浦江再生(中国)

上海は人口約 1600 万人（出稼ぎ者などの約 300 万人を含む）の大都市である。対岸の浦東の経済開放区には高層ビルが林立している。

上海は、世界銀行の予測では、2010 年には約 2500 万人の都市になると言われている。「アジア的スピード」かつ「中国的規模」で発展する大都市の一つである。それだけに、水をめぐっても、都市化に伴う問題も顕著である。

### ◆ 再生のポイント

- 水質浄化
- 水辺空間の整備(黄浦江兩岸の総合開発工事)

### ◆ 黄浦江概要

太湖に源を發し、全長は 113km で、市街区を流れ、川幅は 300~770m(平均 360m)である。

黄浦江は川幅が広く水が深く、1年中凍ることなく、上海市の重要な水上ルートである。

上海の都市の拡大とともに黄浦江の水質の悪化、黒ずんだ異臭を放つようになっていた。



### ◆ 再生のために実施した事業

#### 【水質浄化】

上海を流れる川は黒や茶色の汚れた水が流れている。その一つ、上海の発祥の川といわれる蘇州川では、上海市長の指導のもとで川を蘇生させる運動が始められた。

2000 年までに黒ずんで異臭を放っていた汚染を基本的に取り除く段階的目標を達成し、黄浦江の水質は好転した。

#### 【水辺空間の整備(黄浦江兩岸の総合開発工事)】

浦東の開発から 12 年を経て、上海の中心部を流れる川、黄浦江の兩岸の総合開発工事が始まった。黄浦江沿岸の地域にある工場、埠頭、倉庫などのうち 58%が移転し、緑化地帯、大型文化娯楽施設、住宅地、オフィス街へと姿を変える。これにより黄浦江の兩岸では、工場などが集まった生産型地域から総合サービス地域へとシフトを図る。21 世紀を見据えた上海の都市建設発展での重要なプロジェクトでもある。



市街地側から黄浦江上流側を臨む



上海の河川港湾の風景

出典：国土技術政策総合研究所資料「自然共生型流域圏・都市再生に向けて一人・水・大地と環境」

吉川勝秀 国土技術政策総合研究所

中国の地方概況(上海市) (<http://www.china.org.cn/japanese/ri-difang/shanghai.htm>)